

## 放射性セシウムの追加的放出量 (Bq/h)

平成 30 年 9 月 3 日  
福島県原子力安全対策課

東京電力では、1～4号機原子炉建屋からの現時点の放出量（セシウム）を、原子炉建屋上部等の空气中放射性物質濃度（ダスト濃度）を基に評価しています。

7月に実施された評価は下表のとおり、1～4号機の放出量の合計で、 $4.8 \times 10^4$  Bq/h 未満であり、前月と同様に放出管理の目標値（ $1.0 \times 10^7$  Bq/h）を下回っていることを確認しています。なお、これによる敷地境界における被ばく線量は年間 0.00029mSv 未満と評価しています。

### 平成 30 年 7 月の状況

原子炉建屋	ダスト採取場所	セシウム 134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	セシウム 137 (Bq/cm <sup>3</sup> )	追加的放出量の 評価値 (Bq/h)	備考
1号機	原子炉直上部北西側	$2.7 \times 10^{-7}$	$1.9 \times 10^{-6}$	$5.2 \times 10^2$ 未満	前月は $3.9 \times 10^2$ Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 $2.0 \times 10^{-6}$ )	ND (検出限界 $1.5 \times 10^{-6}$ )		
2号機 開口後	ブローアウトパネル 排気設備入口	ND (検出限界 $1.3 \times 10^{-7}$ )	$9.7 \times 10^{-7}$	$1.5 \times 10^4$ 未満	前月は $1.9 \times 10^4$ Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 $1.1 \times 10^{-6}$ )	ND (検出限界 $8.6 \times 10^{-7}$ )		
3号機	原子炉直上部南	ND (検出限界 $1.3 \times 10^{-7}$ )	$3.9 \times 10^{-7}$	$3.0 \times 10^4$ 未満	前月は $5.3 \times 10^2$ Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 $1.7 \times 10^{-6}$ )	ND (検出限界 $1.2 \times 10^{-6}$ )		
4号機	燃料取出し用 カバー隙間上部	ND (検出限界 $1.2 \times 10^{-7}$ )	ND (検出限界 $9.4 \times 10^{-8}$ )	$2.4 \times 10^3$ 未満	前月は $2.6 \times 10^3$ Bq/h 未満
計				$4.8 \times 10^4$ 未満	前月は $2.2 \times 10^4$ Bq/h 未満

(問い合わせ先 024-521-7255)